

局地的豪雨や台風への準備と有事の際には迅速な行動を

近年、全国各地で局地的豪雨や台風による、大規模な風水害や土砂災害が発生しています。市でも、ここ数年の降雨状況が局地的・短時間豪雨化しているほか、接近する台風も巨大化傾向にあり、大規模な風水害や土砂災害が発生する危険度が高くなっています。風水害や土砂災害から身を守るためには、最新の気象情報などに注意し、市から避難の呼びかけがあったときには、正しく迅速に行動することが重要です。家庭や地域で風水害や土砂災害について理解し、有事の際には、適切に行動できるように確認しておきましょう。

問い合わせ 防災課 増田 ☎(23) 0056

自宅や地域の危険箇所と避難先の確認を

平常時から、河川の決壊や氾濫がおきたときの想定（ハザードマップ）や土砂災害の危険箇所を把握し、自宅周辺

や地域の危険箇所を把握しておくことで、いざ避難となったとき、危険な場所を避けて安全に避難できます。

また、避難先も家族で確認しておきましょう。

市ホームページで、平常時

一步は「情報収集」です。

天候の推移や河川の状況など、最新の情報を把握することで、避難の準備や心構えができ、市から避難の呼びかけがあったときには、すぐに避難ができます。

市からの呼びかけで迅速な避難を

台風や豪雨のとき、市では最新情報を多角的に分析し、気象台なども連携しながら市内の状況を常に監視し、災害が発生する恐れがある地域

報が分かります。

や災害が発生した地域の皆さんに対しては、避難の呼びかけを実施（避難勧告などを発令）します。

呼びかけの種類によって、発令時の状況と住民に求められる行動が異なります。正しく理解し、呼びかけがあったときには速やかな避難行動をお願いします。

災害対策の第一歩は「情報収集」から

から災害に備えるためのさまざまな情報をお知らせしていきます。

風水害や土砂災害対策の第

避難勧告などの種類と住民に求める行動

情報の種類	発令時の状況	住民に求める行動
避難準備情報	人的被害が発生する可能性が高い	高齢者など、避難に時間のかかる人は避難開始
避難勧告	人的被害が発生する可能性がさらに高い	避難所へ速やかに避難開始（または高いところへ移動）
避難指示	災害の前兆現象が発生し切迫している	避難が完了している

低（事態の深刻度）
高

無理な避難をしない「垂直避難」も有効

夜間や雨脚が強い状況下での子どもや高齢者、足腰が不自由な人などの避難は、大変危険です。無理に避難所へ移動せず、住宅の2階など、高いところへの避難（垂直避難）も有効です。

* 河川の近くや土砂災害の危険区域にお住まいの人は、避難所への避難を優先してください。



避難の呼び掛け手段

市からの避難の呼びかけ（避難勧告などを発令）は、同報無線や市ホームページのほか、「緊急速報メール」（NTTドコモでは「エリアメール」と呼ぶ場合があります）で実施します。緊急速報メールは、皆さんの携帯電話へ強制的に送信されますので、災害発生時の危険度が高くなったときには、このメールに注意してください。

なお、受信拒否設定となっている場合や、一部の携帯電話には緊急速報メールが届きませんので、受信設定や機能の有無などについては、携帯電話会社へ問い合わせください。

市では、河川の決壊や氾濫を想定した「牧之原市洪水ハザードマップ（洪水避難地図）」を全戸配布しています。このハザードマップは、市ホームページからも閲覧できます。また、県が順次調査を進めている市内の土砂災害危険箇所（区域）も、同じページから確認できます。

牧之原市 洪水ハザードマップ で 検索

平常時から区や町内会の避難地を確認しておきましょう。

牧之原市 お住まいの避難地 で 検索



地上デジタルテレビのデータ放送

地上デジタルテレビのリモコンの「d」ボタンから、データ放送の防災情報（天気予報や降雨状況、河川水位など）が見られます。（「d」ボタンは、テレビの機種によって配置が異なります）

* 河川水位はSBS（静岡放送）、NHK（日本放送協会）のみの提供です。

インターネットによる情報収集

気象庁 <http://www.jma.go.jp>

雨雲の動き、台風の勢力や進路のほか、土砂災害などに関する防災情報が提供されています。

サイボスレーダー <http://sipos.pref.shizuoka.jp>
県が運営するホームページで、萩間川や勝間田川、坂口谷川の水位情報などが確認できます。



台風18号の影響による川の増水（平成26年10月6日）